

2016年 4月28日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市菅野2-14-14-206
Tel/fax 047-323-3640
携帯 090-6310-3294
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ
http://jcp-shimizu.sblo.jp

日本共産党市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.90



待機児童解消へ

緊急申し入れ

「公共施設の活用」「保育士確保」など



「待機児童解消への緊急申し入れ」を市に出し副市長と懇談（3月31日）

「保育園落ちた 日本死ね」というブログの書き込みから全国で待機児童が多いことが国会でも取り上げられ、話題となりました。市川市でも1279人、県内トップクラスです。3月31日、市長に対して「待機児童解消への緊急申し入れ」を行いました。

「保育園に入れません」「仕事に復帰できません」「何とかしてほしい」という悲痛な訴えが私たちに寄せられます。「保育園に落ちたのは私だ」というプラカードを国会前でかかげているママ、パパの姿もありました。

見休暇を延長した」などの声も紹介し、緊急対策として、①市の公共施設の活用、②公立保育園の分園設置や改修を行い国に対して財政支援を求め、③保育士の確保のための処遇の引き上げを緊急に行う、などです。

副市長も保育士や施設が足りないことは認識していると言いました。詰め込み保育や規制緩和で保育の質を低下させずに待機児童解消の施策をいち早く実施するよう求めました。

保育園整備を着実に実施していくことを求める決議

市川市議会の4月臨時議会で「保育園整備を着実に実施していくことを求める決議」を全会一致で採択しました。近隣住民への丁寧な説明、速やかに住民説明会を開くことなどを要望しています。

日本共産党の 保育緊急提言

日本共産党は4月5日、緊急提言を発表しました。

安倍政権による対策ではいっそうの規制緩和と詰め込み、保育内容の切り下げを行おうというもので、根本的解決に背を向けて公的責任を放棄するものです。

日本共産党は、今日の事態を解決するために保育の緊急提言を行いました。

- ・国や自治体が先頭に立つて公立保育所をつくる
- ・土地確保のための国庫補助制度をつくる
- ・公立保育所に対する新たな国の財政支援制度をつくる
- ・地域のニーズを正確につかんで対策を進める

◎賃上げと保育士配置基準の引き上げ

- ・保育士の賃金を引き上げる（野党共同で5万円引き上げる法案提出）
- ・保育士の配置数の適正化など国の運営費を引き上げ、労働条件を改善する

- ・保育士の専門性にふさわしい処遇にする
- ・非正規の使い捨てをやめ、正規化をすすめる

◎30万人分（3千箇所）の認可保育所を緊急に整備する

「去る4月11日に行われた定例記者会見で、本市が整備を進めていた保育園の計画を断念する事態が発生していることが明らかになり、市民の間にも驚きや落胆、怒りの声が広まっただけにどうもならず、全国的なニュースにも発展してしまっただけにこれは大変遺憾である。当該保育園整備計画に法的な手続に瑕疵はなかったものの、住民説明会が開催されたのは宅地開発条例に基づき事前公開板の設置後であるなど、住民に対する情報開示やコミュニケーションについては一定の改善の余地は見られる。今回の問題を教訓として二度と繰り返すことがないように要望する。」

臨時議会が開かれる

余剰電力売却先が倒産

臨時市議会が4月22日開かれ、市川市クリーンセンターの余剰電力の売却先が倒産した問題について、市当局から報告がありました。市の未収代金は2億401万円にのぼることが明らかになりました。

市、新潟県なども被害にあっています。破産については、新聞でも報道されています。

22日の議会では清掃部長が答弁に立ち「市川市は今後、破産手続きに参加し、債権届出書の提出、債権者集会への出席など、債権者としての必要に行うべき行為、少しでも多く滞納分がとれるように努力したい。また、入札参

7月参議院選挙まで3ヶ月



4月9日午後、志位和夫委員長を弁士に街頭演説会が開かれJR津田沼駅北口デッキには、4000人を超える人たちが集まりました。「安保法制に反対するママの会@ちば」の有澤さん（東京学芸大学准教授）の応援を受けて、浅野ふみ子千葉選挙区候補と椎葉かずゆき比例候補が「ぜったいに国会に行くぞ」と熱く語り、一足先に国会議員となった斉藤和子議員もあいさつ。

志位氏は「7月の参議院選挙まであと3ヶ月。野党共闘が各地で進んでいる。共産党のがんばりが必要だ。850万票、比例8以上を確保しよう」と激励しました。

加資格の設定においても契約の履行状況の確認など適正に行い、再びこのような事態を起こさないようにしたい」と答弁しました。

熊本地震への募金活動に取り組む

熊本を中心に起きた大規模な地震の被害に心を痛めています。早速、朝の宣伝などでも募金を呼び掛けています。志位委員長は安倍首相に「緊急対策」を申し入れました。

特養ホーム待機者ゼロをめざす会が署名提出と懇談



4月20日、ゼロをめざす会は、この間集めた署名586人分（累計1万4936）を提出し、福祉部と懇談しました。総合事業の進捗状況、特養ホーム建設辞退の理由と今後の対応、公有地の活用に対する市の考えを聞きました。

無料法律相談

- ◎6月17日（金）
担当 高橋 勲弁護士
- ◎7月 8日（金）
担当 高橋高子弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分
予約は清水または控え室。

《主な活動報告 3～4月》

☆3月26日 「戦争法廃止」へ県議・市議団で宣伝行動

戦争法廃止へ2000万署名をアピールしようと、岡田県議先頭に、市議団勢ぞろいで、本八幡駅前2時間、宣伝署名活動を行いました。女子高生も署名に応じてくれました。



☆4月13日 航空機騒音問題で国交省交渉

羽田空港での増便による都心低空飛行計画に反対する院内集会と国交省交渉に参加しました。国交省はオリンピックによる国際線増便に備えて、2本の滑走路を使い1時間に40本以上、海外からの航空機を受け

入れるために、東京湾上空に加えて都心上部を飛行して羽田空港に降りるルートが提案されています。「爆音」「落下物」「大気汚染」などどれをとっても、まともな説明はありません。「住民の安全よりも経済優先か」という批判の声が相次ぎました。

☆4月23日 千葉地方議員ネット・九条の会共催「憲法集会」に700人

「私たちが止める戦争への道」と題して、全国でもめずらしい「九条の会千葉地方議員ネット」と「九条の会ちばけん」共催で「憲法集会」が開かれました。講師は経済学者で慶応大学経済学部教授の金子勝さん。15分オーバーの熱弁をふるった後、「安保法制に反対するママの会」「SEALDs」のメンバーと金子さんによるパネルディスカッションが開かれました。若者のお話もたっぷり聞いた新鮮な2時間でした。